

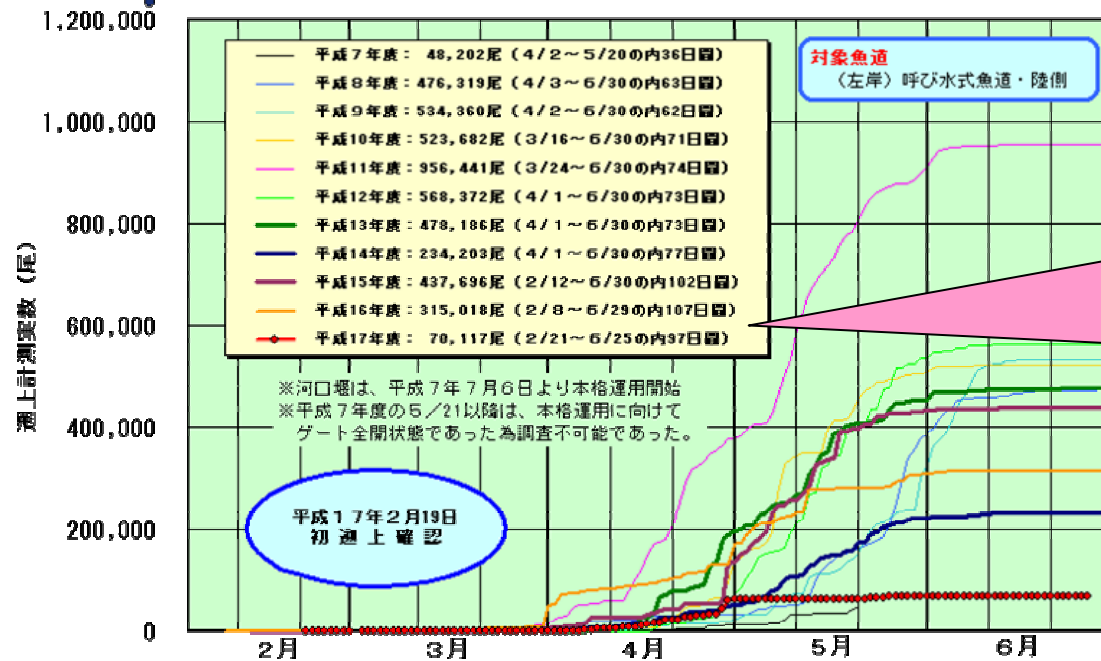
長良川におけるアユの流下障害

2003年、2004年
11月を比較する。

リバーリバイバル研究所

長良川河口堰における遡上数

長良川河口堰地点におけるアユの遡上状況（左岸呼び水式魚道・陸側）



今年のアユの遡上数は過去最低だった。

●平成12~17年については、左岸呼び水式魚道（陸側）において魚道を幅方向に二分割し、1日毎に片側ずつ交互に計測（録画ビデオによる連続計測）する方法での計測実数です。したがって、この計測実数は左岸呼び水式魚道（陸側）の総遡上数の約1/2と推定されます。

●平成7~11年については、目視にて10分間観測し10分間休憩後再び10分間観測するというサイクルで計測していた計測実数です。したがって、この計測実数も左岸呼び水式魚道（陸側）の総遡上数の約1/2と推定できます。

<平成16年度>

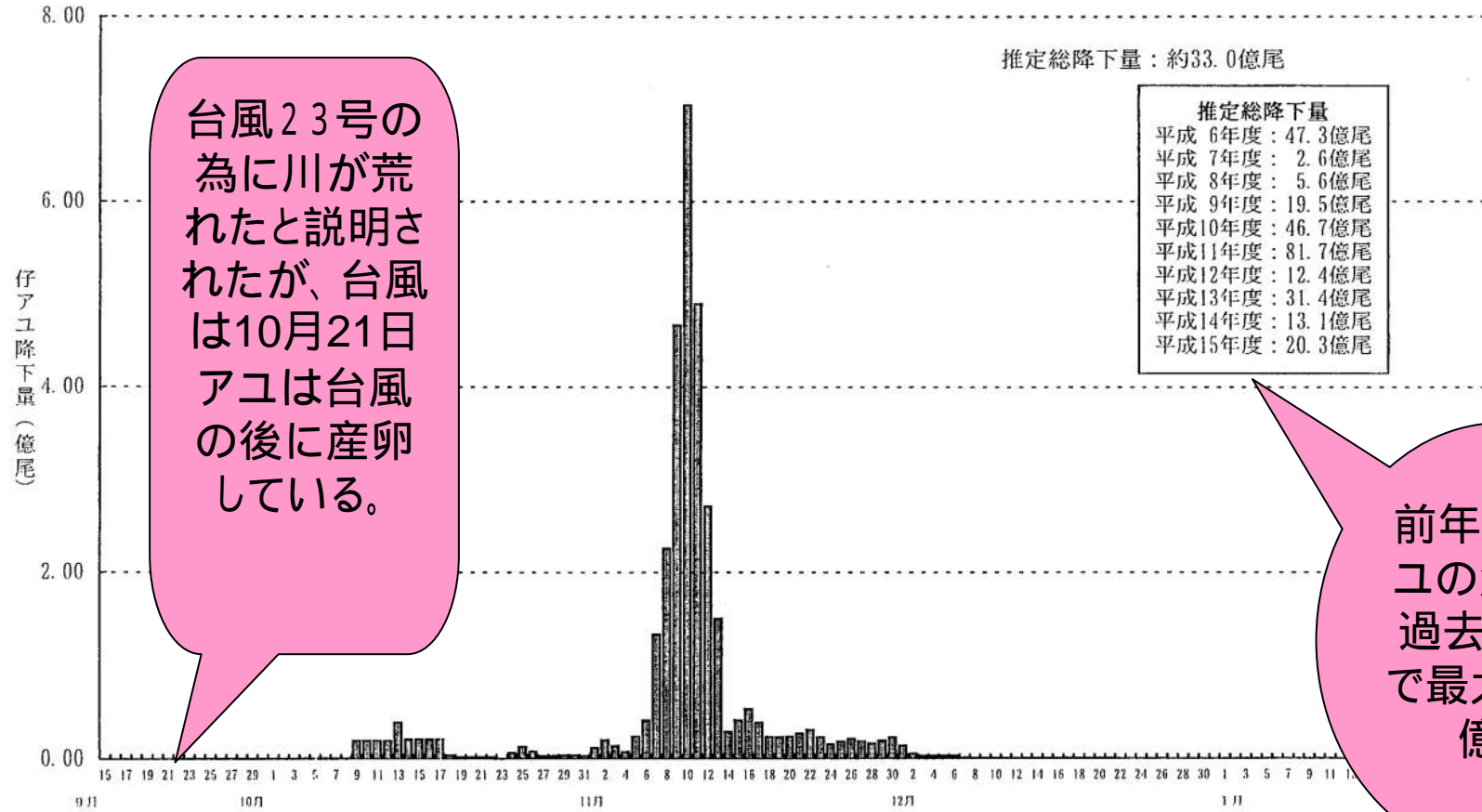
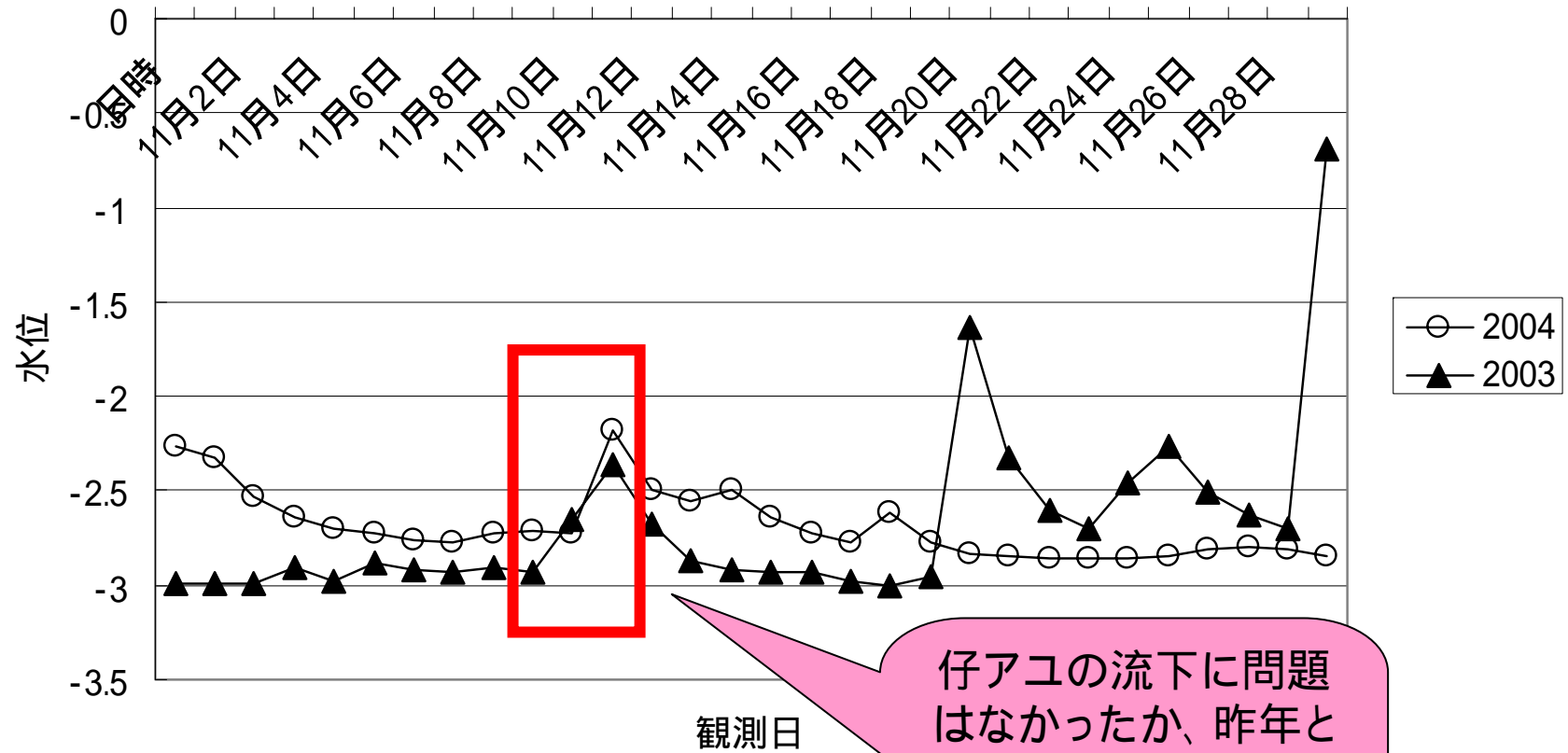


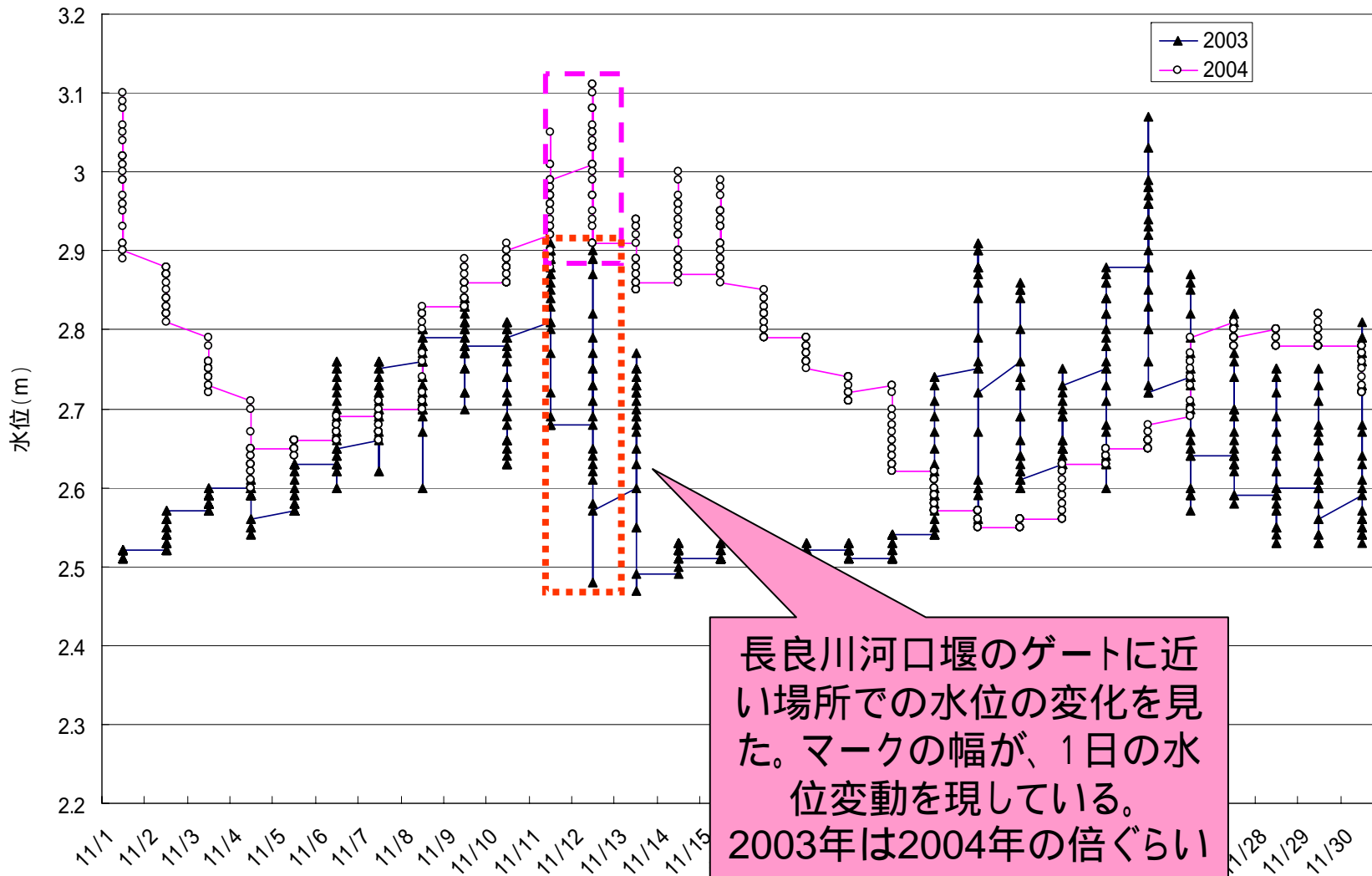
図-4-1-2-4 穂積大橋上流地点における仔アユの日降下量の試算

墨俣水位 11/1 ~ 30

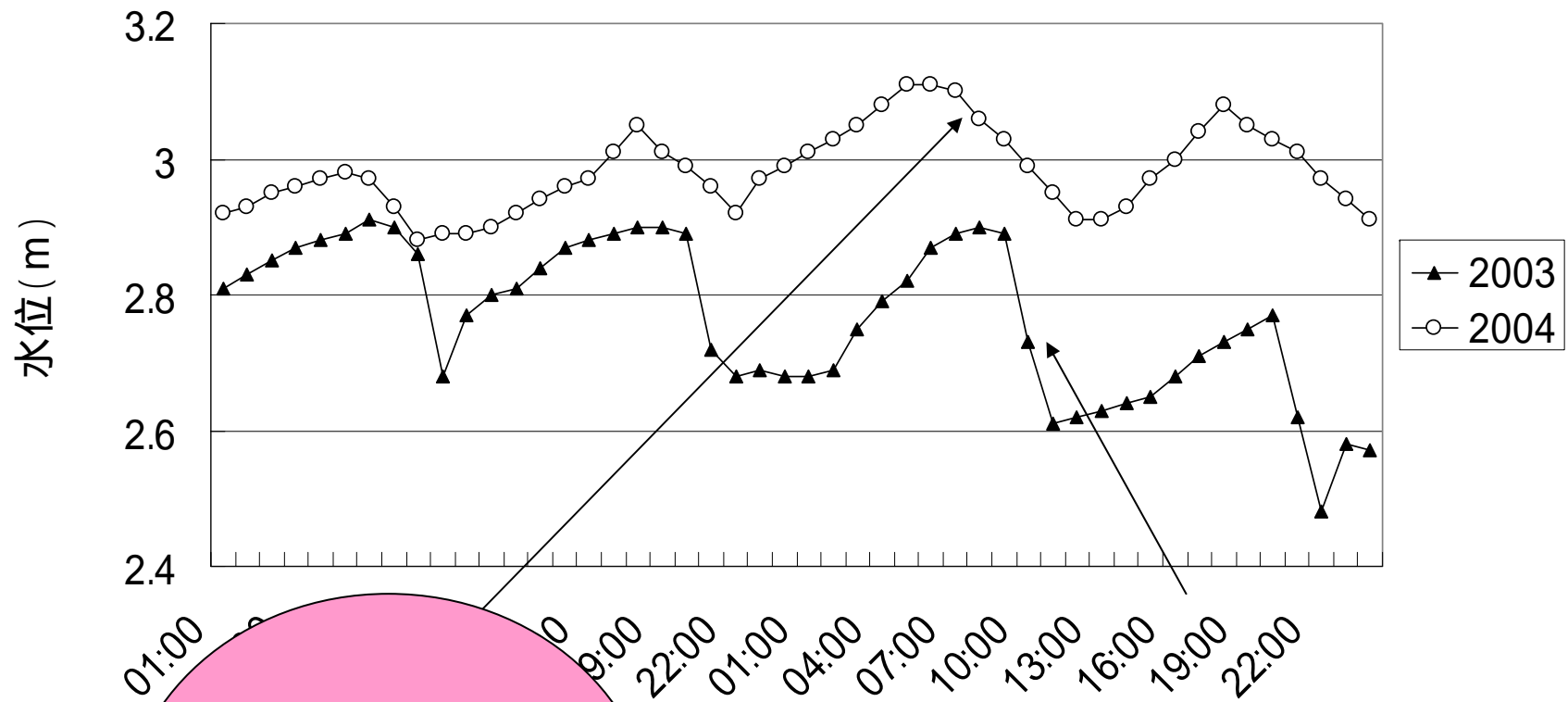


仔アユの流下に問題はなかったか、昨年と1昨年の11月、同じくらいの水の量の期間を比べてみた。

長良川 油島水位変化 (2003,2004)



長良川 油島の時間当たり水位変化(11月11~12日)



水位変化が少ない
流速が遅い
流下に時間が掛かる

観測時 短時間で水位が大きく変わっている
流速が早い
仔アユが降下しやすい!

まとめ

- 1. 2004年仔アユの流下に台風は影響していない。
- 2. 2003、2004年の同じ頃、同じくらいの水量の時を比べると、長良川河口堰上流の水位変化が小さく、また、ゆっくりと変化した。

結論

2004年は仔アユの降下期に、**長良川河口堰上流**の流れが遅かった。

長良川河口堰上流での**滞留時間が増加**し、海域に達した仔アユが減少した。

記録的な**遡上数の減少**の原因となった。